

●三位一体後第四主日

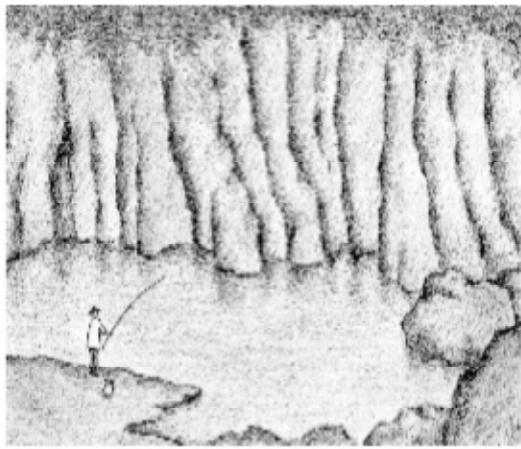
# 泉のほとり

今月の詩編「第二十五編」

あなたに望みをおき、

無垢でまっすぐなら

そのことがわたしを守ってくれるでしょう。



## 時が来るまで

思いもよらない事が起きることがあります。魔術師パルイエスは突然、目が見えなくなりました。どうしてでしょう。悪いものに取り憑かれたのでしょうか。

魔術なんて、自分には関係のないことと思うかも知れません。でも聖書は言います。魔術師は、賢い人のところにいるのです。

この時の魔術師が何をしたのかはわかりません。でもこの魔術師という言葉は、クリスマスに登場する博士に使われる言葉と同じものです。博士のしたことは、星の動きを見て、記録をとって、情報を集めて分析すること。とても科学的なことですよ。

科学の方は、生活を豊かにしてくれる良いものです。今の自分や世界の状況を確かに説明してくれるので、わたしたちは納得し、安心します。でもそうするといつの間にか、神さまが世界を支配しておられることを信じていながら、それこそが最も確かなことだと思いきんでしまうのです。科学の力が主イエス・キリストに代わって心を支配して、心配ばかりしていたら、あなたは魔術師になっているかも知れません。

パウロは魔術師に言いました。あなたは悪魔の子だ。そして、この魔術師の目を見えなくさせたのです。でも本当は、目が見えなくなつたのは、主の御手が下つたからです。目を見えなくさせたのは神さまです。

だからその時、パウロは言います。「時の来るまで」。時が来るのです。神さまの時。神さまがお定めになった時があるのです。自分の願いと違ふことが起きたと

き、それは、悪いものに取り憑かれているのでも、悪いことをしたからでもなく、神さまがあなたのために、あなたが救われるように、お定めになっている時です。

パウロはこの時、自分のことを思い出し出していたと思います。かつてキリスト者を迫害していた自分が伝道者となつたのは、目を見えなくされたからです。この時に、パウロは主にお会いしたのです。

見えなくなつて、初めて見えたことは、他にもありました。今まで自分の力で生きることができたけれども、そうではないこと。自分の手を引いてくれる人、自分を信じて訪れてくれる人がいて、自分の目が開けられたこと。神さまの恵みと憐れみの中で生かされていることを。

パウロは知っていたのです。目を見えなくさせるのも神さま。そして、この人の目を開けることができるのも神さまだけ。神さまが救ってくださる。その時が来る。そして、主の恵みの中に生かされて、まっすぐな主の道を歩いてほしい。

魔術師がどうなったのかはわかりません。でも、この人の目が見えなくされるのを見て、異邦人の地方総督は信仰に入りました。パウロ自身が驚いていたと思えます。人が救われるというのは、神さまのなさること。自分の思いを超えていると。

パウロとは、小さいという意味です。神さまの恵みがどんどん大きくなって、喜んで自分は小さくされて、パウロは伝道が続けていったのだと思います。

詩 篇 第二十六篇 (協会共同訳)

ソビデの詩。

- 一 主よ、私を救いてください。
- 二 私は全き歩みをしてきました。
- 三 私は主に信頼し揺るぐことはありません。
- 四 主よ、私を調べ、試してください。
- 五 私の思いと心を確かめてください。
- 六 あなたの慈しみは私の目の前にあります。
- 七 私はあなたの真実に従って歩んできました。
- 八 私は空しい者と共に座らず  
欺く者と共に進まず
- 九 悪をなす者の集いを憎み  
悪しき者と共に座りませんでした。
- 十 主よ、私は両手を洗って無実を示し  
あなたの祭壇を回ります
- 十一 感謝の声を響かせ  
あなたの奇しき業のすべてを語り伝えるために。
- 十二 主よ、私はあなたの住む家を  
あなたの栄光の宿る所を慕います。
- 十三 あなたが罪人と共に私の魂を  
血を流す者と共に私の命を  
取り去ることがありませんように。
- 十四 彼らの手には恥ずべき行い  
右の手は賄賂に満ちています。
- 十五 私は全き歩みを歩みます。
- 十六 私を贖い、憐れんでください。
- 十七 私の足は平らな所に立つ。  
集会の中で、私は主をたたえよう。

詩 篇 第二十六篇 (新改訳2017)

- 一 主よ私を弁護してください。
- 二 私は誠実に歩み  
よろめくことなく主に信頼しています。
- 三 主よ私を調べ、試みてください。
- 四 私の心の深みまで精錬してください。
- 五 あなたの恵みは私の目の前にあり  
あなたの真理のうちを私は歩み続けました。
- 六 私は不信念な人とともに座らず  
偽善者とともに行きません。
- 七 悪を行う者の集まりを憎み  
悪しき者とともに座りません。
- 八 手を洗い、自らの潔白を示します。
- 九 主よ私はあなたの祭壇の周りを歩きます。
- 十 感謝の声を響き渡らせて語り上げます。
- 十一 あなたの奇しいみわざのすべてを。
- 十二 主よ私は愛します。  
あなたの住まいのある所  
あなたの栄光のとどまる所を。
- 十三 どうか私のたましいを罪人どもとともに  
私のいのちを人の血を流す者どもとともに  
取り去らないでください。
- 十四 彼らの手には悪事があり  
その右の手は賄賂で満ちています。
- 十五 しかし私は 誠実に歩みます。
- 十六 私を贖い出してください。  
あわれんでください。
- 十七 私の足は平らな所に立っています。  
救々の集いで私は主をほめたたえます。

今日のお知らせ

○今日は諸聖徒記念礼拝です。

○八月に「夏季バイブルスクール」を予定しています。参加されたい方は七月：四日までにお申し込みください。

○ミヤンマー教会の長老リヤンさんが、九日未明にお亡くなりになりました。ミヤンマー教会のためにお祈りください。

○三面に新共同訳聖書も掲載していますので、是非ご活用ください。

詩篇 第二十六篇 (新共同訳)

ダビデの詩。

- 一 主よ、あなたの救いを望みます。  
わたしは完全な道を歩いてきました。  
主に信頼して、よろめいたことはありません。
- 二 主よ、わたしを調べ、試み  
はらわたと心を火をもって試してください。  
あなたの怒りはわたしの目の前にあり  
あなたのまことに従って歩き続けています。
- 三 偽る者と共に座らず  
欺く者の仲間に入らず  
悪事を謀る者の集いを憎み  
主に逆らう者と共に座ることをしません。
- 四 主よ、わたしは手を洗って潔白を示し  
あなたの祭壇を廻り  
感謝の歌声を響かせ  
驚くべき御業をことごとく語り伝えます。
- 五 主よ、あなたのいます家  
あなたの栄光の宿るところをわたしは慕います。  
九 わたしの魂を罪ある者の魂と共に  
わたしの命を流血を犯す者の命と共に  
取り上げないでください。
- 十 彼らの手は汚れた行いに馴れ  
その右の手には奪った物が満ちています。  
十一 わたしは完全な道を歩きます。  
わたしを憐れみ、贖ってください。
- 十二 わたしの足はまっすぐな道に立っています。  
聖歌隊と共にわたしは主をたたえます。

奉仕班より

○ディアコニアショップでは七月十日と十七日  
ハチミツと瀬戸内レモンのセット販売をいた  
します。本格的夏到来、ハニーレモンでひと  
とき清涼感を味わってください。  
二〇二二年夏、皆さまのご健康をお祈りいた  
します。



次週礼拝

- 第一礼拝 (午前9時30分)  
讃美歌 讃(1) 205番 雄々しくあれ  
説教 「穏やかに迎え入れた」  
聖書 ヘブライ人11章31節  
説教者 宮岡彰広兄

- 第二礼拝 (午前11時)  
讃美歌 12番 270番  
説教 「再び来られるキリスト」  
聖書 マタイ24章15〜31節  
説教者 黄允澁牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 205番 雄々しくあれ  
説教 「励ましの言葉を」  
聖書 使徒13章13～26節(新約P238)  
司式 石川一兄  
聖餐司式 黄允湜 牧師・菊池美穂子 副牧師  
説教者 菊池美穂子 副牧師

前奏曲「来たれ全能の王」H.カイツ

### ○讃美歌21 205番(1, 5番)

1. 今日光が 造られた日よ、  
闇の中にも 「光かがやけ」
5. 今日主イエスの よみがえりの日  
われらを生かす 愛をたたえよ

アーメン

### ○「雄々しくあれ」(1, 2番)

1. 雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ  
神さまはどこにでも 共におられる  
われらを倒して 負かすものはない  
雄々しくあれ 強くあれ 強くあれ
3. 雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ  
神様の御教えを 守り行ない  
右にも曲がらず 左にもそれず  
ただ真っすぐ進むのだ 進むのだ

アーメン

聖餐曲「メモリアルピース」H.バーラー

後奏曲「試みの世にあれど」E.グロート

## 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 7番 244番  
説教 「荒野の旅の人生」  
聖書 申命記8章1～10節(旧約P294)  
司式 石川一兄  
聖餐司式 黄允湜 牧師・菊池美穂子 副牧師  
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「主なる神よ、いま犬を開きたまえ」J.S.バッハ

### ○讃美歌7番(1, 4番)

#### ○聖歌隊による讃美

「あめなるよろこび」編曲 山元富雄  
あめなるよろこびこよなき愛を  
たずさえ下れる我が君イエスよ  
救いの恵みをあらわに示し  
いやしきこの身に宿らせたまえ

命をあたうる主よとどまりて  
我らの心をとこ宮となし  
あしたに夕べに祈りをささげ  
たたえのうたをば歌わせたまえ

我らを新たにつくりきよめて  
栄えにさかえをいや増しくわえ  
み国にのぼりてみ前に伏す日  
み顔のひかりを映させたまえ

アーメン

### ○讃美歌244番(1, 3番)

聖餐曲「メモリアルピース」H.バーラー

後奏曲「試みの世にあれど」E.グロート